

## 広島県中山間地域振興計画（第Ⅱ期）[素案]に対する県民意見募集の結果について

### 1 募集期間及び結果

<b>募集期間</b>	令和2年10月5日（月）～11月4日（水）までの1か月間		
<b>意見の件数</b>	45件（20名） ※前回（平成26年度計画策定時）：24件（20名）		
<b>回答者属性</b>	<b>年代</b>	<b>平成26年度</b>	<b>令和2年度</b>
	20代以下	1件（4%）	1件（2%）
	30～40代	12件（50%）	33件（73%）
	50～60代	10件（42%）	10件（22%）
	70代以上	1件（4%）	
	不明		1件（2%）
	<b>合計</b>	<b>24件（20名）</b>	<b>45件（20名）</b>

### 2 寄せられた主な意見と今後の対応

- 中山間地域における地域運営やコミュニティの維持に向けたサポート体制
  - 最先端の学びを受けられる、中山間地域の強みを生かした学習環境づくり
  - 農林水産業への新規就業者の確保対策や鳥獣被害対策などへの支援に関すること
- など、今後の具体的な取組に関する意見が多く寄せられ、今後関係各局と調整しながら対応を検討する。

#### （1）総論に関すること

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各分野にまたがった県の見通しが分かりやすくまとまっており大枠で方向性については賛同する。</li> <li>○ この計画が県内の各市町としっかりと共有され、県全体で同じ方向を目指して各政策が実現できるよう、県・市町間の連携や積極的な意見交換を期待する。</li> <li>○ 持続可能な社会は都市（消費）と中山間地域（生産）の健全な関係の中にある。中山間地域の問題は「都市の問題」であるとも言え、都市部住民への啓発・意識改革が最も重要である。</li> </ul>

## (2) 施策の推進方向に関すること

区分	主な意見
<b>人づくり</b>	<p><b>(協働・連携・交流)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域課題を解決しようとする人材がいることはとても心強く、その方たちがモチベーションを保ちながら取組を継続できるようなサポートを期待する。</li> <li>○ 地域の魅力を発信したり、地域に根差した人と人とのつながりを生む「編集・デザイン」などの事業が中山間地域には大事である。</li> <li>○ 地域運営においては、地域における市民団体の育成が必要であり、団体と行政がパートナーシップを構築し事業を実施する仕組みづくりを期待する。</li> <li>○ スポーツイベントは参加する側だけでなく、主催者やボランティア側も元気になる要素があるため大いに実施すべき。</li> </ul> <p><b>(移住)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若者の移住促進とあわせて、セカンドキャリアとして中山間地域で新たなチャレンジを模索している40～50代へのアプローチも必要。</li> <li>○ 空き家の利活用については、県が市町に対してマッチングの仕組みづくりなどの支援を行ってほしい。</li> </ul> <p><b>(教育)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中山間地域の子どもたちが日本や世界の最先端を学び、夢を叶えられる教育環境・教育機会を作ることを期待する。</li> </ul>
<b>仕事づくり</b>	<p><b>(農林水産業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢化や人手不足が著しい農林水産事業者等への人材育成・新規雇用推進や、技術面・資金面でのサポートが望まれる。</li> <li>○ 鳥獣被害による耕作意欲の減退が地域の衰退につながっており、市町・県だけでなく中国5県、全国的な対策が必要。</li> </ul> <p><b>(事業展開・創業支援)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 起業した人が事業を立ち上げてから軌道に乗るまでの伴走支援制度が必要。</li> <li>○ 中山間地域だからこそ実現できる働き方への転換を図るためには、中山間地域の既存企業に対し、サテライトオフィス進出企業の働き方の紹介等により企業風土を見直す機会を提供するなど、企業側への意識付けが必要。</li> </ul> <p><b>(観光)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の観光資源の活用には、文化財の活用なども含め、県や市町の複数の担当部署がスムーズに連携・調整できる仕組みづくりが必要。</li> </ul>
<b>生活環境づくり</b>	<p><b>(居住環境)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域間を結ぶ交通網整備を含め、県全体での交通網整備の考え方の整理が必要。</li> </ul> <p><b>(子育て支援)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティの小さな地域に移住してきた母親など、子育て支援において盲点になりがちな人たちを地域で支え合えるよう、地域と行政が一体となった取組が必要。</li> </ul> <p><b>(環境保全)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木質バイオマス等の再生可能エネルギー利用の取組は、森林保全や災害未然防止の観点からも有効な取組であると期待している。</li> </ul> <p><b>(危機管理)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震・津波災害についても豪雨災害とともに防災の重要な柱と位置付け、実効性のある事前防災対策を早急に取り組んでほしい。</li> </ul>